

「1番の方、どうぞ〜」

「あっ、あああ、あの、は、初めまして……」

「初めまして〜、パイズリアイドル『ズリズリZ^{ゼット}』の
Lカップ担当、エルミですっ。
今日はパイズリ会に来てくれて
ありがとうございますっ☆」

ズリズリZ
パイズリ会

「私、まだ新人なのに最初から
エルミの列に並んで頂いて、
とっても嬉しいですっ♥」

1人1回まで

プルプル
♡

プルプル
♡



「ほ、僕、パイズリメンバーの中では
エルミちゃんが推して……。
パイズリ会来たのも、今回が初めてで……
き、今日のために、2週間オナ禁してきましたっつ」



「わあ〜☆私のために、そんな頑張って
溜めてくれたんですか??
ありがとうございますっ お兄さん♡♡
それじゃ、はりきって
パイズリしちゃいますね♡♡」

「脱いじゃった方が良いですか??はい、どうぞ♡」

（うわあ…!あ、アイドルの、生乳首…!）

ユサ♡

ユサ♡

ムチ♡

「それじゃいきますよー、
まずはむぎゅーって挟んで——」



「はあ、はあ……！
え、エルミちゃん、
104センチLカップパイズリ……！」

「うわああああ!? や、ヤバイ……！
こんななの、我慢できな……!!」

「わわっ!!
えっあ、あれ!!」



はいお兄さん、後がつかえてますから
射精終わったら変わってくださいね〜

*女パイズリマネージャー

「うう…そ、そんな…エルミちゃんとの
パイズリ会、ずっと
楽しみにしてたのに…
こ、これで終わりだなんてえ…」

（お兄さん、せっかく来てくれたのに…
かわいそう…）



「えいっ☆」

ムギョウウウウウ

「あああああ!?!
え、エルミちゃん!?!」

「あは☆すっごく濃い我慢汁出ましたね〜♡
お兄さん、とっても遅しいです♡♡」



(エルミちゃん!?!もしかして、僕が落ち込んでたから
射精したの誤魔化してくれて…!!?)
な、なんて良い子なんだっ)

「ううう…き、気持ちいいよお、
エルミちゃんっっ」

「ほんとですか??
嬉しいです♥イキたくなったら、遠慮せずに
びゅっびゅっしてくださいね♥♥」



「え、エルミちゃんっ!!エルミちゃん!!
あっあっ……!」

「あっ……♡♡とぅとぅ
出ましたねえ〜♡
ふふ♡♡♡」





「こんなに出して…♡
満足してもらえたようで
よかったです☆☆☆」

「これからも応援
よろしくお願いしますね♡♡」

♡♡♡♡♡

ドロオドロ



フェニックス♡♡♡

天使な………「全応援しよう♡」